◇MUZ-254938-0000-20260820◇

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（商品）	
信託期間	無期限（2026年５月15日設定）	
運用方針	①ゴールド・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として金価格の値動きをとらえることを目的とする上場投資信託証券に投資を行います。 ②マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。 ③実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビーファンド	ゴールド・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	上場投資信託証券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）	

運用報告書（全体版）

三菱ＵＦＪ ゴールドファンド＜年１回決算型＞

愛称：純金世界

第１期（決算日：2026年８月20日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに謹んで運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

MUFG
三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目９番１号
ホームページ　https://www.am.mufg.jp/

当運用報告書に関するお問い合わせ先
お客さま専用フリーダイヤル　０１２０－１５１０３４
（受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～１月３日を除く）
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
・－印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			（参考指数）Bloomberg XAU L150指数		投資信託証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（円換算ベース）	期中騰落率		
（設定日）	円	円	%		%	%	百万円
2026年５月15日	10,000	－	－	10,000	－	－	5
１期(2026年８月20日)	9,870	0	△1.3	9,794	△2.1	95.8	117

（注）設定日の基準価額は、設定時の価額です。
（注）基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
（注）参考指数は、Bloomberg XAU L150指数（円換算ベース）です。XAU L150 Currencyは、ブルームバーグ社が公表する金価格のスポット価格です。Bloomberg XAU L150指数（円換算ベース）は、XAU L150 Currency（米ドルベース）をもとに委託会社が計算したものです。価格ソースはロンドン15時 BGN Fixing Rateです。「Bloomberg®」およびXAU L150 Currencyは、Bloomberg Finance L.P.および、同価格の管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークです。ブルームバーグは三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社とは提携しておらず、また、本ファンドを承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、XAU L150 Currencyに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。
（注）外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
（注）当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
（注）設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		（参考指数）Bloomberg XAU L150指数		投資信託証券組入比率
		騰落率	（円換算ベース）	騰落率	
（設定日）	円	%		%	%
2026年５月15日	10,000	－	10,000	－	－
５月末	9,908	△0.9	9,790	△2.1	96.8
６月末	9,053	△9.5	9,077	△9.2	96.8
７月末	9,158	△8.4	9,148	△8.5	95.0
（期　末）					
2026年８月20日	9,870	△1.3	9,794	△2.1	95.8

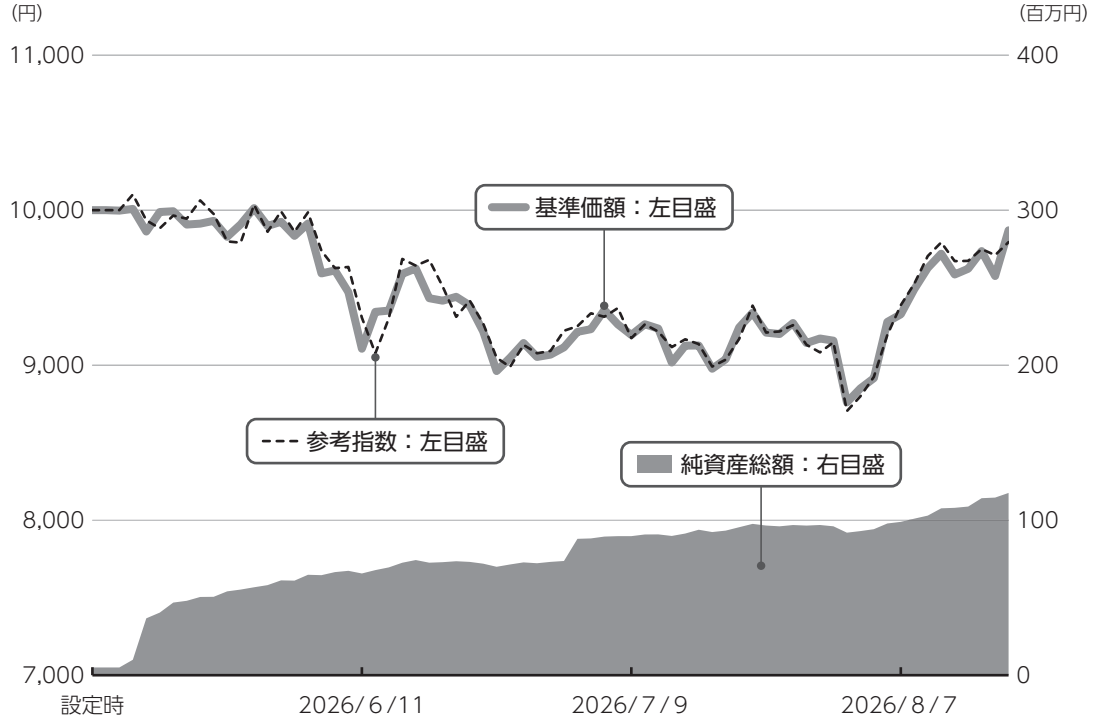
（注）設定日の基準価額は、設定時の価額です。
（注）騰落率は設定日比。
（注）当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

運用経過

第１期：2026年５月15日～2026年８月20日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第１期首	10,000円
第１期末	9,870円
既払分配金	0円
騰落率	－1.3%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は設定時に比べ1.3%の下落となりました。

基準価額の主な変動要因

下落要因

米ドル建て金が下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

第１期：2026年５月15日～2026年８月20日

投資環境について

▶米ドル建て金市況

米ドル建て金市況は下落しました。

米ドル建て金市況は、設定時から2026年７月にかけて、米連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）のタカ派姿勢や米・イランの緊張再燃に伴うインフレ懸念から米金利が上昇し、下落基調となりました。８月には、米財務省による長期国債買い戻し拡大の発表を受けて米金利低下とドル安が進み、金価格は急伸したものの、設定時比では下落となりました。

▶為替市況

米ドルは円に対して下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶三菱ＵＦＪ ゴールドファンド＜年１回決算型＞

ゴールド・マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、組入比率を高位に保ちました。

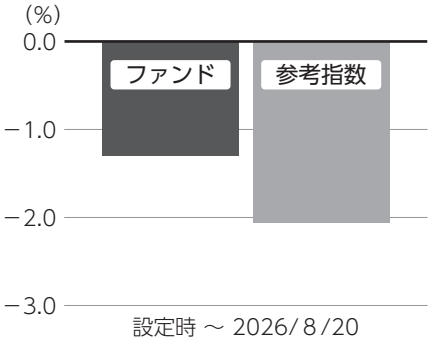
▶ゴールド・マザーファンド

金価格の値動きをとらえることを目的とする上場投資信託証券の組入れを高位に保ちました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
参考指数はBloomberg XAU L150指数（円換算ベース）です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　目	第１期 2026年５月15日～2026年８月20日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	218

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶三菱ＵＦＪ ゴールドファンド＜年１回決算型＞

マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持する方針です。

▶ゴールド・マザーファンド

金価格の値動きをとらえることを目的とする上場投資信託証券への投資を行います。

2026年５月15日～2026年８月20日

１万口当たりの費用明細

項目	当期 金額（円）	当期 比率（%）	項目の概要
(a)信　託　報　酬	13	0.139	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（期中の日数÷年間日数）
（投　信　会　社）	(6)	(0.066)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販　売　会　社）	(6)	(0.067)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受　託　会　社）	(1)	(0.006)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)売買委託手数料	4	0.040	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（投資信託証券）	(4)	(0.040)	
(c)そ　の　他　費　用	1	0.009	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保　管　費　用）	(0)	(0.000)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監　査　費　用）	(0)	(0.001)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（そ　の　他）	(1)	(0.008)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合　　計	18	0.188	

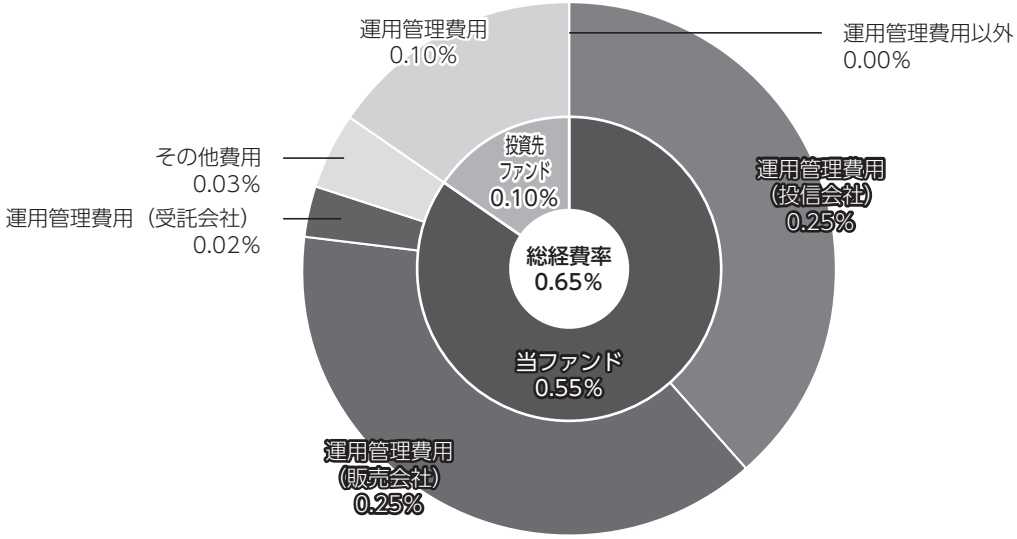
期中の平均基準価額は、9,441円です。

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.65%**です。



総経費率（①+②+③）	（%）	0.65
①当ファンドの費用の比率	（%）	0.55
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	（%）	0.10
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	（%）	0.00

（注）①の費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）投資先ファンドの費用の内訳が開示されていない場合、運用管理費用を最大と想定し算出しております。
（注）前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2026年５月15日～2026年８月20日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ゴールド・マザーファンド	120,541	116,792	2,125	1,980

○利害関係人との取引状況等

（2026年５月15日～2026年８月20日）

利害関係人との取引状況

＜三菱ＵＦＪ ゴールドファンド＜年１回決算型＞＞

該当事項はございません。

＜ゴールド・マザーファンド＞

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	177	53	29.9	－	－	－

平均保有割合　62.1%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱ＵＦＪ銀行、三菱ＵＦＪ信託銀行です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2026年５月15日～2026年８月20日）

設定時残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
5	－	－	5	当初設定時における取得

○組入資産の明細

（2026年８月20日現在）

親投資信託残高

銘柄	当期末	
	口数	評価額
	千口	千円
ゴールド・マザーファンド	118,415	117,018

○投資信託財産の構成

（2026年８月20日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
ゴールド・マザーファンド	117,018	98.8
コール・ローン等、その他	1,465	1.2
投資信託財産総額	118,483	100.0

（注）ゴールド・マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（181,545千円）の投資信託財産総額（185,536千円）に対する比率は97.8%です。

（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

１アメリカドル＝158.48円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年８月20日現在)

項　　目	当 期 末
	円
(A) 資産	**118,483,555**
コール・ローン等	980,553
ゴールド・マザーファンド(評価額)	117,018,066
未収入金	484,911
未収利息	25
(B) 負債	**895,045**
未払解約金	788,898
未払信託報酬	105,485
その他未払費用	662
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	**117,588,510**
元本	119,142,993
次期繰越損益金	△ 1,554,483
(D) 受益権総口数	**119,142,993口**
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	**9,870円**

＜注記事項＞

①設定元本額　5,000,000円
　期中追加設定元本額　127,114,296円
　期中一部解約元本額　12,971,303円
　また、１口当たり純資産額は、期末0.9870円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,554,483円です。

③分配金の計算過程

項　　目	2026年５月15日～ 2026年８月20日
費用控除後の配当等収益額	11,978円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	2,588,579円
収益調整金額	2,457円
分配準備積立金額	－円
当ファンドの分配対象収益額	2,603,014円
１万口当たり収益分配対象額	218円
１万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

○損益の状況 (2026年５月15日～2026年８月20日)

項　　目	当　　期
	円
(A) 配当等収益	**1,769**
受取利息	1,769
(B) 有価証券売買損益	**2,704,935**
売買益	2,835,597
売買損	△ 130,662
(C) 信託報酬等	**△ 106,147**
(D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)	**2,600,557**
(E) 追加信託差損益金	**△4,155,040**
(売買損益相当額)	(△4,155,040)
(F) 計(Ｄ＋Ｅ)	**△1,554,483**
(G) 収益分配金	**0**
次期繰越損益金(Ｆ＋Ｇ)	**△1,554,483**
追加信託差損益金	△4,155,040
(配当等相当額)	(2,457)
(売買損益相当額)	(△4,157,497)
分配準備積立金	2,600,557

(注) **(B)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) **(C)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) **(E)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

＊三菱ＵＦＪアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（https://www.am.mufg.jp/）をご覧ください。

ゴールド・マザーファンド

《第１期》決算日2026年８月20日

［計算期間：2026年５月15日～2026年８月20日］

「ゴールド・マザーファンド」は、８月20日に第１期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第１期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	①主として、金価格の値動きをとらえることを目的とする上場投資信託証券に投資を行います。 ②投資を行う上場投資信託証券は流動性や金価格に対する値動き等を勘案して選定します。 ③上場投資信託証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。 ④組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	上場投資信託証券を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		（参考指数）Bloomberg XAU L150指数		投資信託証券組入比率	純資産総額
		期中騰落率	(円換算ベース)	期中騰落率		
(設定日)	円	%		%	%	百万円
2026年５月15日	10,000	－	10,000	－	－	9
１期(2026年８月20日)	9,882	△1.2	9,794	△2.1	96.3	184

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
(注) 参考指数は、Bloomberg XAU L150指数（円換算ベース）です。XAU L150 Currencyは、ブルームバーグ社が公表する金価格のスポット価格です。Bloomberg XAU L150指数（円換算ベース）は、XAU L150 Currency（米ドルベース）をもとに委託会社が計算したものです。価格ソースはロンドン15時 BGN Fixing Rateです。「Bloomberg®」およびXAU L150 Currencyは、Bloomberg Finance L.P.および、同価格の管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークです。ブルームバーグは三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社とは提携しておらず、また、本ファンドを承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、XAU L150 Currencyに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。
(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		（参考指数）Bloomberg XAU L150指数		投資信託証券組入比率
		騰落率	（円換算ベース）	騰落率	
（設定日）	円	%		%	%
2026年５月15日	10,000	－	10,000	－	－
５月末	9,910	△0.9	9,790	△2.1	97.3
６月末	9,054	△9.5	9,077	△9.2	97.3
７月末	9,164	△8.4	9,148	△8.5	95.5
（期　末）					
2026年８月20日	9,882	△1.2	9,794	△2.1	96.3

（注）設定日の基準価額は、設定時の価額です。
（注）騰落率は設定日比。

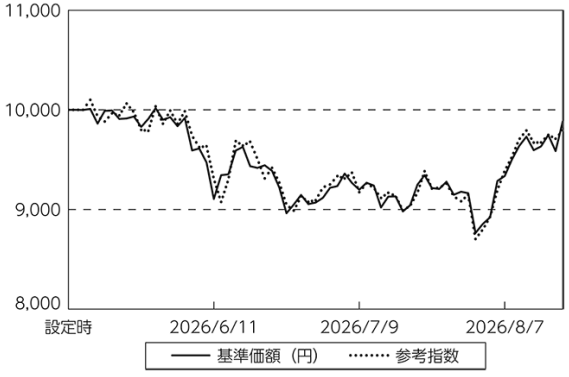
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は設定時に比べ1.2%の下落となりました。

基準価額等の推移



（注）参考指数は設定時の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●基準価額の主な変動要因

（下落要因）

米ドル建て金が下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎米ドル建て金市況

米ドル建て金市況は下落しました。

・米ドル建て金市況は、設定時から2026年７月にかけて、米連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）のタカ派姿勢や米・イランの緊張再燃に伴うインフレ懸念から米金利が上昇し、下落基調となりました。８月には、米財務省による長期国債買い戻し拡大の発表を受けて米金利低下とドル安が進み、金価格は急伸したものの、設定時比では下落となりました。

◎為替市況

米ドルは円に対して下落しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

金価格の値動きをとらえることを目的とする上場投資信託証券の組入れを高位に保ちました。

○今後の運用方針

金価格の値動きをとらえることを目的とする上場投資信託証券への投資を行います。

○１万口当たりの費用明細

（2026年５月15日～2026年８月20日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 売買委託手数料	4	0.040	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（投資信託証券）	(4)	(0.040)	
(b) その他費用	1	0.008	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.000)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（その他）	(1)	(0.008)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	5	0.048	
期中の平均基準価額は、9,445円です。			

（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2026年５月15日～2026年８月20日）

投資信託証券

銘柄		買付 口数	買付 金額	売付 口数	売付 金額
		千口	千アメリカドル	千口	千アメリカドル
外国	アメリカ				
	SPDR GOLD MINISHARES TRUST	12	1,086	－	－

（注）金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

（2026年５月15日～2026年８月20日）

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	177	53	29.9	－	－	－

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱ＵＦＪ銀行、三菱ＵＦＪ信託銀行です。

○組入資産の明細

（2026年８月20日現在）

外国投資信託証券

銘柄		当期末 口数	当期末 評価額 外貨建金額	当期末 評価額 邦貨換算金額	当期末 比率
（アメリカ）		千口	千アメリカドル	千円	%
SPDR GOLD MINISHARES TRUST		12	1,122	177,944	96.3
合計	口数・金額	12	1,122	177,944	
	銘柄数＜比率＞	1	－	＜96.3%＞	

（注）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
（注）比率および合計欄の＜ ＞内は、純資産総額に対する評価額の比率。

○投資信託財産の構成

（2026年８月20日現在）

項目	当期末 評価額	当期末 比率
	千円	%
投資証券	177,944	95.9
コール・ローン等、その他	7,592	4.1
投資信託財産総額	185,536	100.0

（注）期末における外貨建純資産（181,545千円）の投資信託財産総額（185,536千円）に対する比率は97.8%です。
（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

１アメリカドル＝158.48円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年８月20日現在)

項　　目	当 期 末
	円
(A) 資産	185,536,998
コール・ローン等	7,592,103
投資証券(評価額)	177,944,790
未収利息	105
(B) 負債	685,901
未払解約金	685,901
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	184,851,097
元本	187,049,542
次期繰越損益金	△ 2,198,445
(D) 受益権総口数	187,049,542口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	9,882円

＜注記事項＞

①設定元本額　9,950,000円
　期中追加設定元本額　186,442,155円
　期中一部解約元本額　9,342,613円
　また、１口当たり純資産額は、期末0.9882円です。

②期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）
　三菱ＵＦＪ ゴールドファンド＜年１回決算型＞　118,415,368円
　三菱ＵＦＪ ゴールドファンド＜毎月決算型＞予想分配金提示型　68,634,174円
　合計　187,049,542円

③純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,198,445円です。

○損益の状況 (2026年５月15日～2026年８月20日)

項　　目	当　　期
	円
(A) 配当等収益	17,187
受取利息	17,187
(B) 有価証券売買損益	3,982,338
売買益	5,774,422
売買損	△1,792,084
(C) 保管費用等	△ 10,109
(D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)	3,989,416
(E) 追加信託差損益金	△6,838,130
(F) 解約差損益金	650,269
(G) 計(Ｄ＋Ｅ＋Ｆ)	△2,198,445
次期繰越損益金(Ｇ)	△2,198,445

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。